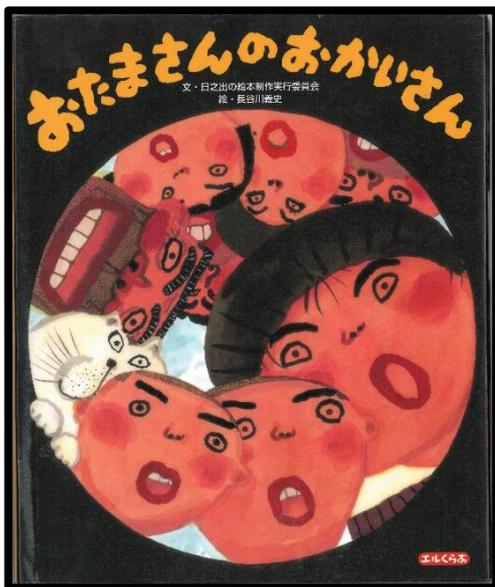


## おたまさんのおかいさん

特集:れきし



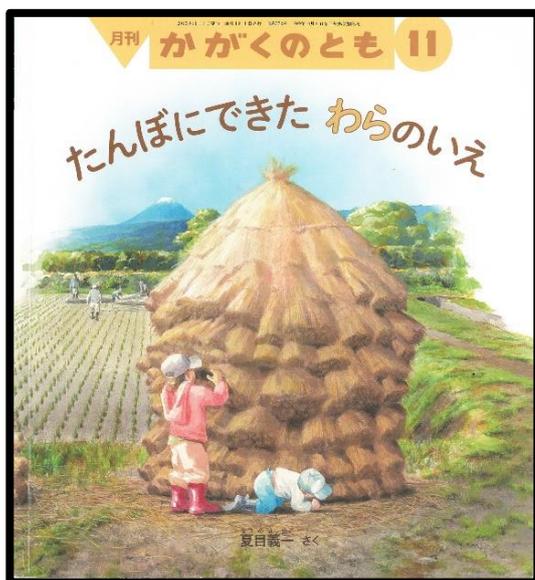
日之出の絵本制作実行委員会/文  
長谷川 義史/絵  
解放出版社〔エ〕

せんそうでまるやけになった大阪の  
日之出の町にくらす「おたまさん」。体はちっ  
ちやいけど、肝っ玉はでっかいおたまさんが  
炊く、おかいさん(おかゆ)は、二人のまごも  
近所のみんなも大すぎ。おいしいおかい  
さんを食べたら、夫婦げんかもわすれ、たちま  
ち仲直り。

お年よりからの聞きとりを元につくられた  
絵本で、差別や貧しさにもまけない人びと  
と、明るく何ものにもゆるがないおたまさん  
の話が、迫力ある絵で描かれています。

巻末の資料編には教科書の無償配布を  
求めて運動を起こした、誇りある地区の  
歴史が紹介されています。講談社出版文化  
賞絵本賞受賞作。

## たんぼにできたわらのいえ



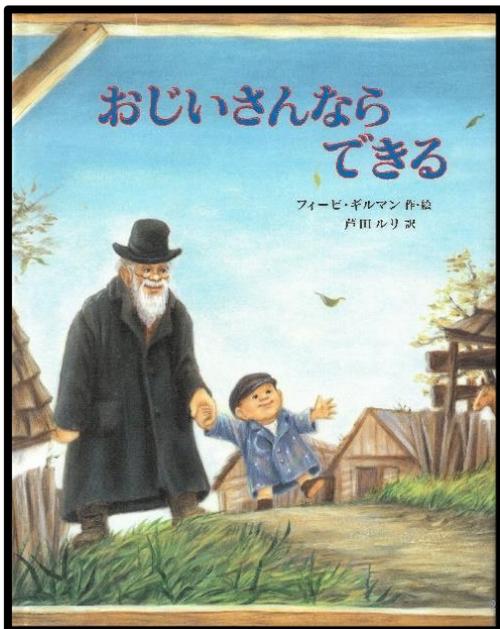
かがくのとも [2016年11月号]  
夏目 義一/さく  
福音館書店

いねかりのあと、かわかしたわらを  
ひとたばずつ、つみ上げて作られた  
わらづか。冬でもあたたかいわらづ  
かには、カタツムリやヘビなどがはい  
ってきて、いきものたちの家になります。

春になると、わらづかはこわされ、  
うねに置いて、やさいのさむさよけに  
します。冬のあいだ、いきものをまも  
っていたわらは、こんどは、やさいを  
まもるのです。

わらをむだなくつかう、むかしながら  
の、のうさぎょうが、えがかれていま  
す。

## おじいさんならできる



フィービ・ギルマン/作・絵

あしだ ルリ/訳

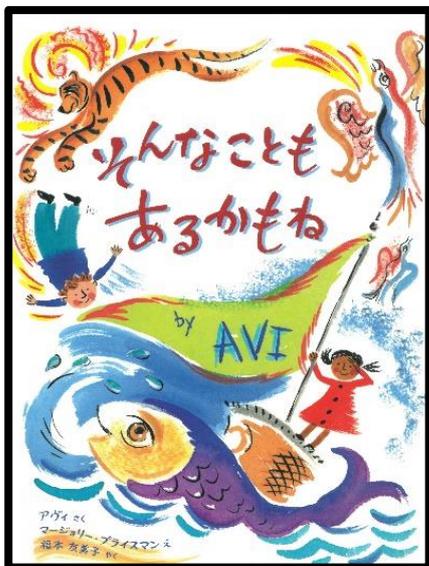
福音館書店〔エ〕

ヨゼフは赤ちゃんのとき、すてきなブランケットを、おじいさんにぬってもらいました。ふるくなって、よごれてやぶれてしまうと、おじいさんはヨゼフのためにすてきなジャケットに作りなおしてくれました。その後、よごれてふるくなるたびに、いろいろなものに作りなおしてくれます。

ものを大切にすることのすばらしさを教えてくれる絵本です。

ヨゼフのお話と同時に、ねずみの一家のお話も楽しむことができます。

## そんなこともあるかもね



アヴィ/さく

マージョリー・プライスマン/え

ふくもと ゆみこ/やく

フレーベル社〔エ〕

カバが車を買に行きました。ほし  
いのは、いちばんきれいな車です。

車やさんはつぎつぎに車を見せて  
くれました。けれど、からだの大きなカ  
バは、どれもせまくてのれません。

こまった車やさんは、さいごにとつ  
ておきの車を見せてくれました。ざせき  
にもちゃんとすわれてぴったりです。  
「おお、なんとすばらしい！せかいで  
いちばんきれいなくなるまじゃないか！」  
（「せかいでいちばんきれいなくなるま  
より）

みじかいおはなしが9つはいった絵  
本です。